



東京女子医科大学学術リポジトリ
<https://twinkle.repo.nii.ac.jp>

テュートリアル課題 ミルクを吐く

著者名	東京女子医科大学
雑誌名	テュートリアル課題
巻	2002
号	B6
発行年	2002-09-11
URL	http://hdl.handle.net/10470/158

2002年度 B l o c k . 6

課 題 N o . 3

「ミルクを吐く」



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

課題番号 2002-B6-T1-3

課題名 ミルクを吐く

シート 1

白川冬樹ちゃんは2月生まれで現在10ヵ月。昨日よりミルクを飲むと吐くようになりました。

抽出項目 1) 乳児の栄養と食生活

2) 乳児の嘔吐の発症機序と診断

抽出項目の病歴 (1) 目録抽出

家族と発症の病歴 (2)

診断、病歴発症の病歴 (3)

課題番号 2002-B6-T1-3

課題名 ミルクを吐く

シート 2

冬樹ちゃんは一昨日乳児健診を受けるため、保育園を早退して近医へ行きました。その時の体重は7500g、身長68cm。離乳食は2回、ミルクは5回飲んでいました。つかまり立ちができて、マンマ、マンマとよく声を出していましたが、バイバイはできませんでした。便は1日1回でしたが昨日は4回排便があり、次第に水様になってきました。今日は朝からすでに3回水様便があり、哺乳ビンを近付けても口を開きませんでした。

- 抽出項目
- 1) 乳児健診の目的と概略
 - 2) 乳児の成長と発達
 - 3) 乳児の下痢の発症機序、病態

シート 3

おかあさんは冬樹ちゃんを病院につれて行きました。診察室に入っても、いつものようにすぐ泣き出すこともなく、静かで少しウトウトしていました。医師は数日前からの保育園での様子や離乳食の内容などを尋ねました。診察の後、おむつについた便をみて、入院治療が勧められ、直ちに検査が行われました。

- 抽出項目
- 1) 乳児下痢症の種類と診断、検査
 - 2) 脱水症の発症機序と診断、検査
 - 3) 小児の病歴聴取と診察の基本的事項

課題番号 2002-B6-T1-3

課題名 ミルクを吐く

シート 4

病歴および所見は以下のようでした。

既往歴・家族歴：特記すべきことなし。同胞なし。

妊娠出産歴：正常

予防接種歴：ポリオ1回、BCG、三種混合一期3回、インフルエンザ2回

体重：6800g．身長：68.5cm．頭囲：43.5cm．胸囲：44cm

体温 36.2℃．全身状態不良、傾眠傾向。

大泉門 1.5cm×1.5cm やや陥凹。

項部硬直なし。口唇乾燥。

胸部聴診：異常なし。

腹部：皮膚緊張が著明に低下。聴診にて腸雑音亢進。

股動脈音が聴取された。

臀部発赤。

便は写真の如くでした。

- 抽出項目
- 1) 乳幼児の予防接種の概略
 - 2) 脱水症の重症度の診断と検査
 - 3) 乳児の便の性状
 - 4) 資料の検査所見から小児血液検査の評価、電解質代謝の基本と脱水症の診断、乳児下痢症の便検査

課題番号 2002-B6-T1-3

課題名 ミルクを吐く

シート 5

入院後、輸液治療が行なわれ、数時間後には元気に笑うようになりました。検査室より便のロタウイルス抗原が陽性であったとの連絡が入りました。保育園に連絡をしたところ、同様の症状で休園している子が数人いるとのことでした。やがて、ミルクや離乳食摂取も元通りに回復したので退院し、お母さんも仕事に復帰しました。

- 抽出項目
- 1) 脱水症の治療方法
 - 2) ロタウイルス下痢症
 - 3) 乳幼児の主な感染症とその流行
 - 4) 就労母の保育の問題